

# 年金記録訂正請求に係る答申について

関東信越地方年金記録訂正審議会  
(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、新潟県、長野県、山梨県担当部会)  
令和3年10月6日答申分

## ○答申の概要

年金記録の訂正の必要があるとするもの 1件

厚生年金保険関係 1件

厚生局受付番号 : 関東信越(受)第2100202号  
厚生局事案番号 : 関東信越(厚)第2100045号

## 第1 結論

請求者のA社における平成15年12月31日の標準賞与額を15万円、平成16年8月31日の標準賞与額を15万円に訂正することが必要である。

平成15年12月31日及び平成16年8月31日の標準賞与額については、厚生年金保険の保険給付及び保険料の納付の特例等に関する法律第1条第5項の規定により、保険給付の計算の基礎となる標準賞与額として記録することが必要である。

事業主が請求者に係る平成15年12月31日及び平成16年8月31日の標準賞与額に基づく厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、明らかでないと認められる。

## 第2 請求の要旨等

### 1 請求者の氏名等

氏名 : 女  
基礎年金番号 :  
生年月日 : 昭和36年生  
住所 :

### 2 請求内容の要旨

請求期間 : ① 平成15年12月31日  
② 平成16年8月31日

ねんきんネットで過去の厚生年金保険の月別状況を確認したところ、請求期間①及び②の標準賞与額の記録が漏れていた。各請求期間に係る賞与支払明細書を提出するので、記録を訂正してほしい。

## 第3 判断の理由

請求者から提出された賞与支払明細書及び事業主の回答により、請求者は請求期間①及び②にそれぞれ15万円の賞与を支給され、当該賞与額に基づく標準賞与額に見合う厚生年金保険料を事業主により控除されていたことが認められる。

なお、事業主が請求者に係る厚生年金保険料を納付する義務を履行したか否かについては、事業主は、平成15年12月31日及び平成16年8月31日の賞与について請求者の健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届を社会保険事務所(当時)に対し提出したか否か、また、厚生年金保険料を納付したか否かはいずれも不明と回答しているところ、これを確認できる関連資料及び周辺事情はないことから、明らかでないと判断せざるを得ない。

また、政府の当該保険料を徴収する権利が時効により消滅する前に、事業主が請求どおりの厚生年金保険被保険者の賞与額に係る届出を社会保険事務所に対して行ったか否かについては、これを確認できる関連資料及び周辺事情がないことから、行ったとは認められない。